



(題字 時澤 貢 学長)

第401号

(平成10年5月号)



▲ 第80回東海・北陸地区国立大学学生部部課長会議：平成10年5月26日～27日 立山国際ホテル

目 次

関係法令	3	職員消息	
		◆ 住所変更	14
諸会議	3	◆ 新任者住所	14
学 事		主要行事	14
◆ 平成10年度富山大学国際交流事業基金による各種事業の採択について	4		
◆ 平成10年度富山大学国際交流後援会事業の採択について	5		
人事異動	6		
学内諸報			
◆ 総合情報処理センター長に山西教育学部教授が就任	6		
◆ 叙勲	7		
◆ 名誉教授に称号授与	8		
◆ 富山大学永年勤続者を表彰	11		
◆ 東海・北陸地区国立大学学生部部課長会議を開催	12		
◆ 海外渡航者	13		
◆ 外国人来訪者	13		



▲ 第43回大学祭

関 係 法 令

(法 律)

- 大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律（52）
（平10.5.6 官報号外第88号）
- 平成10年分所得税の特別減税のための臨時措置法及び租税特別措置法の一部を改正する法律（84）
（平成10.5.29 官報号外特第8号）

(政 令)

- 児童手当法施行令の一部を改正する政令（187）
（平10.5.29 官報号外第106号）

- 平成10年分所得税の特別減税のための臨時措置法施行令の一部を改正する政令（192）
（平10.5.29 官報号外特第8号）

(省 令)

- 平成10年分所得税の特別減税のための臨時措置法施行規則の一部を改正する省令（大蔵62）
（平10.5.29 官報号外特第8号）

(規 則)

- 人事院規則11-8（職員の定年）の一部を改正する人事院規則（人事院11-8-9）
（平10.5.27 官報号外第103号）

諸 会 議

第2回附属図書館商議会（5月6日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度大型コレクション及び自然科学系図書資料の要求について

第1回施設整備委員会（5月19日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度国立学校施設整備費概算要求について

第2回事務協議会（5月19日）

（議 題）

- 当面の諸課題について

第1回学寮委員会（5月21日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度の負担割合について（光熱水料）
- (2) その他

第2回部局長懇談会（5月22日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第2回評議会（5月22日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度概算要求（案）について
- (2) その他

第1回自己点検評価委員会（5月22日）

（審議事項）

- (1) 平成9年度自己点検評価について
- (2) その他

第1回教養教育委員会（5月22日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度教養教育経費の要求について
- (2) その他

第2回授業料等減免選考委員会（5月28日）

（議 題）

- (1) 富山大学授業料免除者選考基準について
- (2) 平成10年度前期分授業料免除者の選考について
- (3) その他

第1回入学試験委員会（5月28日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度入学者選抜試験の実施に伴う基本方針（案）について

(2) 平成11年度入学者選抜実施教科・科目等(案)について

(3) 平成10年度入試等に関する情報提供について

第1回教務委員会(5月28日)

(審議事項)

- (1) 教務情報システムにおける個人情報保護要項(暫定)について
- (2) 学年暦の改善方策等について
- (3) SCS(スペース・コラボレーション・システム)について

第1回国際交流委員会(5月28日)

(審議事項)

- (1) 平成9年度富山大学国際交流事業基金決算について
- (2) 平成10年度富山大学国際交流事業基金予算(案)について
- (3) 平成10年度富山大学国際交流事業基金各種事業の選考について
- (4) 平成10年度富山大学国際交流後援会事業の選考について
- (5) その他



平成10年度富山大学国際交流事業基金による各種事業の採択

○ 第1種海外派遣事業(B)

部局	職名	氏名	派遣期間	訪問先	研究課題
経済学部	教授	中島 信之	10. 6.17~10. 6.24 (8日間)	慶南大学校 江原大学校 (大韓民国)	ファジ理論の数学的理論とその応用に関する研究
理学部	教授	東川 和夫	10. 9.13~10. 9.26 (14日間)	トロント大学 (カナダ)	複素有界領域の幾何学的解析構造について
工学部	教授	北野 博巳	10. 9.27~10.10. 3 (7日間)	Zakopane 市 (ポーランド)	超分子系のバイオセンサーへの応用に関する研究
工学部	講師	佐山三千雄	10. 7.14~10. 7.22 (9日間)	エヴァーグリーン大学 (アメリカ合衆国)	λファージを用いたdinitrobenzaldehyde結合蛋白質の検索

○ 第2種外国人研究者招へい事業(B)

申請教官			招へい期間	招へい研究者		研究課題
部局	職名	氏名		氏名	所属・職	
教育学部	教授	清水 建次	10. 8.30~10. 9. 2 (4日間)	Jin Hanmin (金 漢民) (中華人民共和国)	吉林大学物理系 教授	希土類金属間化合物の磁性
経済学部	助教授	新里 泰孝	10. 6.21~10. 6.24 (4日間)	Paul Riethmuller (ポール リースミュラー) (オーストラリア)	クウィーンズランド 大学経済学部 上級講師	日本と豪州の農業政策

○ 第3種外国人留学生への奨学事業

氏 名	性別	国籍	学籍番号	所 属	学年
任 暁 剛	男	中国	9721120361	教育学研究科 教科教育専攻	2
楊 峰	女	中国	9821120241	教育学研究科 教科教育専攻	1
張 鷟	男	中国	9630021265	経済学部 経営学科	3
林 海	男	中国	9650011417	工学部 電子情報工学科	3
孫 甲 軍	男	中国	9730011637	経済学部 経済学科	2
延 哲 豪	男	中国	9730021240	経済学部 経営学科	2

○ 第3種外国留学への奨学事業

氏 名	性別	学籍番号	所 属	学年	留 学 先	留 学 期 間
三輪 友恵	女	9610030839	人文学部 言語文化学科	3	イルクーツク国立言語総合大学 (ロシア連邦)	平成10年4月1日～ 平成11年3月31日

平成10年度富山大学国際交流後援会事業(外国人留学生への宿舎費補助)の採択

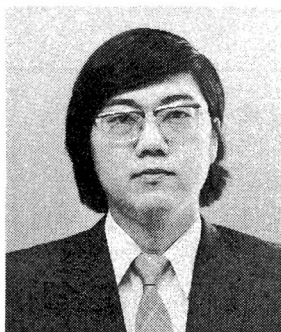
氏 名	性別	国籍	学籍番号	所 属	学年
袁 暁 偉	女	中国	9831120058	経済学研究科 企業経営専攻	1
KHOU DOUGOUEVA VICTORIA	女	ロシア連邦	9831120085	経済学研究科 企業経営専攻	1
郎 洪 冰	男	中国	9550011371	工学部 電子情報工学科	4
張 鷟	男	中国	9630021265	経済学部 経営学科	3
魯 倫 基	男	韓国	9850025070	工学部 機械システム工学科	3

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	10. 5. 13	ソコロフ イーゴル ウラジミロヴィチ		助教授 工学部（電気電子システム工学科電気システム工学） 任期 平成13年3月31日まで
昇 任	10. 6. 1	前田 寧	助 手 工 学 部 （物質生命システム工学科応用化学）	助教授 福井大学 工学部
配 置 換	10. 5. 11	坂本 江見	助 手 経 済 学 部（経営学科管理科学）	助 手 教 育 学 部（技術教育）
併 任	10. 5. 11	米田 政明	教 授 工 学 部	生涯学習教育研究センター長 （～12.5.10）
	〃	山西 潤一	教 授 教 育 学 部	総合情報処理センター長（～12.5.10）
職務命令	10. 5. 11	坂本 江見	助 手 経 済 学 部（経営学科管理科学）	総合情報処理センター勤務を免ずる
	〃	坂本 江見	助 手 教 育 学 部（技術教育）	総合情報処理センター勤務を命ずる

学 内 諸 報

総合情報処理センター長に山西教育学部教授が就任



総合情報処理センター長の任期が平成10年5月10日で満了することに伴い、去る3月17日(火)開催の総合情報処理センター運営委員会において、次期センター長候補者の選考が行われ、山西潤一教育学部教授が選出されました。

山西教授は、昭和55年3月大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程を修了後、同57年6月富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター講師に採用され、同59年6月同助教授に昇任、平成元年3月同教育学部助教授に配置換、同4年4月同教授に昇任され、現在に至っています。任期は、平成10年5月11日から2年間。

専門は、教育工学、人間工学。工学博士（大阪大学）。富山県出身。

（就任の抱負）

図らずも新装なった総合情報処理センターのセンター

長をお引き受けすることになり、その責務の重大さを鑑み身の引き締まる思いであります。思い返せば4年前、当時副センター長として、誰でも、いつでも、どこでもコンピュータが活用できるキャンパスネットワークの構築を目指して努力していたのが夢のようです。今や学内にはATMLANが張り巡らされ、2,000台近いコンピュータが接続され、自宅から学内のネットワークを利用するユーザも急増していると聞いています。世はまさにインターネットの時代であり、情報環境が大学の教育・研究の充実に不可欠のものになってきています。研究のみならず、WWWを活かした新しい教育の方法や教育支援の方法もどんどん開発されてきています。ハードウェアやネットワークの充実のみならず、今後はそこに流れるコンテンツの質が問われる時代でもあります。

総合情報処理センターが学生・教官の教育・研究支援はもとより、富山大学から大学の知的資源を国内外に発信する核となるべく、微力ながらその役割を果たしたいと考えております。ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

叙 勲

去る4月29日付で、平成10年春の叙勲が発表され、本学関係では次の方々を受章されました。

名誉教授 杉本新平 勲三等旭日中綬章

勲三等旭日中綬章の叙勲にあづかり、多くの方々の御親愛と御力添へに対し、感謝いたしております。

敗戦の翌年金沢工専に奉職して以来、富山薬専、富山大学文理学部、教養部など、40余年の歳月を教師一筋につとめて参りました。特に大学教育における教養学（人間学・基礎学）の重要性について奮闘してきたことが思い出されます。しかし、その教養部も廃止されたのと裏腹に、社会の不正非道が蔓延し、今更また人間教養の大切さが反省されつゝあることは、全く皮肉なことと存じます。

私は、教育の根幹は、今も昔も教養主義一道にあることを確信し、これからの大学教育の充実と発展を祈念いたします。

名誉教授 井村定久 勲三等旭日中綬章

このたび、春の叙勲に際し、勲三等旭日中綬章拝受の栄に浴し、身に余る光栄と存じております。これは偏に富山大学教職員の皆様様の数々の御指導と御協力の賜と深く感謝しております。

去る5月12日、国立劇場において勲記と勲章の伝達をうけ、ついで、バスにて坂下門より皇居に参入し、長和殿の春秋の間において天皇陛下に拝謁し、ねぎらいと励ましの御言葉を賜り、大変感動いたしました。南車寄において記念撮影をした後、乾門より皇居を退出して参りましたが、文字通り身のひきしまる、誠に緊張の1日でした。

今後は、この榮譽に恥じないよう一層の精進を重ねて参りたいと考えております。

終わりに、富山大学の益々の御発展を祈念いたしております。

—— 新たに6氏が本学名誉教授 ——
名誉教授の称号授与される

本年3月末をもって退職されました藤井一行氏、奥貫晴弘氏（以上元人文学部教授）、笹尾靖也氏、中川眸氏（以上元教育学部教授）、吉原節夫氏（元経済学部教授）及び堀越叡氏（元理学部教授）の6氏に平成10年4月17日付けで名誉教授の称号を授与することが決まり、去る5月1日(金)に時澤学長から称号記が伝達されました。

以下に新名誉教授を紹介します。



名誉教授
藤 井 一 行
 一橋大学大学院社会学研究科
 修士課程修了
 社会学修士

同氏は、昭和35年3月一橋大学大学院社会学研究科修士課程を修了、同40年3月同大学大学院博士課程を単位取得後、同42年4月札幌大学外国語学部助教授に採用となり、その後、同47年4月金沢大学教養部助教授に採用され、同51年7月同教授に昇任、同53年4月富山大学人文学部教授に配置換となり、平成10年3月31日限り停年により退職されました。

同氏は、本学教官として着任以来20年の永きにわたり、人文学部語学文学科においてはロシア語・ロシア文学を、また、国際文化学科では日ロ文化関係論を担当し、常に厳正な教育姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって、学生の教育・指導に当たり、多数の優秀なる研究者、教育者を育成し、信頼しうる人材を社会に送り出されました。また、留学生の受入れにも積極的に取り組み、教育・

指導に当たるとともに平成8年3月ロシア連邦イルクーツク国立外国語教育大学英語学部と富山大学人文学部との学術交流協定の締結に尽力されました。

この間、学内においては、人文学部教務委員会、同予算委員会、同将来計画委員会等の委員として、学部の充実・発展に多大なる貢献をされました。

一方、学術研究面では、ロシア思想史を専攻分野とし、19世紀ロシアの文化思想とロシア・マルクス主義について研究を行い、ペリンスキー、チュルヌイシェフスキー、ドブロリュエボフ、ピーサレフ等体制変革を志向した思想家たちについて、彼らが体制変革という課題とのかかわりで総じて文化（主に文学や知的活動）のあり方をどのように位置づけていたか歴史的に追求した。また、スターリン体制成立以前のロシアのマルクス主義者たち、とりわけレーニン、トロツキー、ルナチャルスキー、ヴォロンスキーなど初期ソヴェト政権を担ったマルクス主義者たちについて、その社会主義的自由の理念と展望を探り、スターリン主義に汚染されていない本来のロシア・マルクス主義というものを明らかにし、その研究成果は、多数の著書・論文として発表され学界においても高く評価されました。



名誉教授
奥 貫 晴 弘
 東京大学文学部ドイツ
 文学科卒業
 文学士

同氏は、昭和30年3月東京大学文学部ドイツ文学科を卒業後、同年4月独協学園教諭となり、同37年10月富山大学文理学部講師に採用され、同40年10月同助教授に昇

任、同42年4月同大学教養部助教授に配置換、同52年4月同教授に昇任、平成5年4月同大学人文学部教授に配置換となり、平成10年3月31日限り停年により退職されました。

同氏は、本学教官として着任以来35年の永きにわたり、文理学部文学科、人文学部言語文化学科及び教養部においてドイツ文学、ドイツ語文法及び教養ドイツ語を担当し、常に厳正な教育姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって、学生の教育・指導に当たり、多数の優秀なる研究者、教育者を育成し、また、信頼しうる人材を社会に送り出

されました。

この間、学内においては、教務委員会委員、人文学部教務委員会委員長、同自己点検評価委員会委員、同入学選抜方法検討委員会委員等を歴任し、大学及び学部の充実・発展に多大なる貢献をされました。

一方、学術研究面では、セルヴァンテスから始まるヨーロッパ近代小説の歴史の中で、ヨーロッパ文学の発展がドイツ文学側からいかなる寄与があったのか、重要な寄与をしたと目されるロマン派のホフマン、カフカ、ムージル等の作家について、文学史的視点からではなく作家

自体の特異性を探り出すという視点から解明した。このことは、「ウルダルの泉」、「ウルダルの泉（その二）」、「カフカの『日記』について」、「静かなムージルの誘惑」として論文にまとめられ、その成果は高く評価されました。

また、学外においては、日本独文学会北陸支部選出理事、日本ゲーテ協会理事、日本ゲーテ協会富山支部常任幹事等を歴任し、日本独文学北陸支部選出理事として、平成5年10月本学を会場として開催された日本独文学秋季研究発表会の開催に尽力されました。



名誉教授

笹尾 靖也

東京大学大学院博士課程修了

理学博士

同氏は、昭和35年3月東京大学大学院博士課程を修了後、同年4月武蔵工業大学助教授、同39年4月中央大学理工学部助教授、同41年4月東京女子大学文理学部助教授、同42年9月東京工業大学理学部助教授、同54年2月同教授を経て、平成5年4月富山大学教育学部教授となり、平成10年3月31日限り停年により退職されました。

この間、数学者として38年の永きにわたり研究に精励

されると共に、熱心に学生の教育・指導に当たり、幾多の有能な人材を社会に送り出されました。

一方、学内においては、数多くの各種委員会等委員を務め、大学及び教育学部の管理運営に尽力し、その発展・充実に寄与されました。

また、研究面では、専門分野である位相幾何学の中のホモトピー理論の研究に永年携わってこられ、学会等に研究成果を積極的に発表、特に富山大学において、主目的を写像空間の連結成分；懸垂空間から一般位相空間への写像類の作る群について、その非可換性の面に力を注ぎ、数編の論文を発表されました。具体的計算から始まり、一般的定理の獲得へと進む本研究は、国際的にも論議されるなど、期会においてその功績は高く評価されています。



名誉教授

中 川 眸

奈良女子大学家政学部

食物学科卒業

医学博士

同氏は、昭和30年3月奈良女子大学家政学部を卒業後、同年4月福岡高等栄養学校教師（同校は昭和32年4月中村栄養短期大学に改組）、同32年4月中村栄養短期大学助手、同36年4月同講師を経て、同40年1月富山大学教育学部講師、同45年8月同助教授、同56年2月同教授となり、平成10年3月31日限り停年により退職されました。

この間、43年の永きにわたり教育・研究に精励される

と共に、熱心に学生の指導に当たり、幾多の有能な人材を社会に送り出されました。

一方、学内においては、数多くの各種委員会等委員を務めると共に、昭和63年4月からは、2期4年にわたって富山大学教育学部附属中学校長を併任されるなど、大学及び教育学部の管理運営に尽力し、本学の発展・充実に寄与されました。

研究面では、主に食物学と家政教育学の両分野において精力的な研究を行い、特に、ビタミンB₁欠乏ラットにおける肝細胞のポリゾーム崩壊に伴うRNA並びにタンパク質の生合成の減少を明らかにし、栄養素欠乏時における生体の衰弱の機作を生化学的に解明するなど、その研究業績は期会に高く評価されています。さらに、ドイツ家政学（エコトロフォロジー）とドイツの家政教育

についても多くの論文と著書を記し、日本にエコトロフォロジーを紹介した功績は非常に大なるものであると共に、日本におけるこの分野での権威者として後輩の指導に大きく貢献されました。

また、同氏は、栄養・食料学会中部支部評議員、日本



名誉教授
吉原 節夫
九州大学大学院法学研究科
修士課程修了
法学修士

同氏は、昭和32年3月九州大学大学院法学研究科修士課程を修了後、同32年4月富山大学経済学部助手に採用となり、同36年4月同講師、同39年4月同助教授、同53年2月同教授に昇任し、平成10年3月31日限り停年により退職されました。

同氏は、本学教官として着任以来41年の永きにわたり、民法の担当教官として教育研究に従事し、常に厳正の中にも終始懇篤な温情をもって学生の教育・指導に当たり、幾多の有為な人材の育成に尽力されました。

この間、学内においては、昭和63年9月から平成6年9月まで富山大学経済学部長として、昭和62年8月から平成6年9月まで及び平成7年8月から同9年7月まで富山大学評議員として深い学識と高い見識をもって大学



名誉教授
堀 越 勲
東京大学大学院数物系研究科
修士課程修了
理学博士

同氏は、昭和33年3月東京大学大学院数物系研究科修士課程を修了後、同年4月同和鉱業株式会社に入社し、その後、同39年4月九州大学工学部助手に採用され、同47年6月東京大学理学部助手に転任、同53年4月富山大学理学部教授に昇任し、平成10年3月31日限り停年により退職されました。

家庭科教育学会評議員、同学会北陸地区会長等として関連学会等の運営に尽力したことのみならず、富山県教育委員、富山県生涯教育推進協議会委員、消費者協会理事などとして県の教育行政にも大きな貢献をされました。

の管理運営に精励し、大学及び学部の充実発展に多大な貢献をされました。

一方、学術研究面では、民法特に財産法に関する学界の主要な研究テーマに取り組み、その優れた研究によって学問上及び裁判上に大きな貢献をされました。

同氏は、講師時代に民法学界における最大の論争の一つであり、一般市民にも関わり深い「不動産の売買による所有権移転時期」に関して、それまで学説が表面的にしか取り上げていなかった裁判例につき、事実関係を重視する周到で徹底した総合判例研究をなし、通説の理解が不正確であったことを指摘して自説を展開した画期的な論文によって学界の注目を浴び、学説が契約成立時説から代金支払時説へと大転回するのに大きく寄与しました。その後の裁判例もほとんどが代金支払時説に立っています。

また、学外においては、幅広い学識と高い識見によって、富山地方労働委員会公益委員・会長、富山県消費生活審議会会長、高岡市行財政改革委員会会長その他、国・県・市等の審議会等の委員を多く委嘱され、その顕著な功績により労働大臣賞・自治大臣賞を受賞されました。

同氏は、本学教官として着任以来20年の永きにわたり、鉱床学、地殻進化学を担当し、常に厳正な教育姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって、学生の教育・指導に当たり、多数の優秀なる技術者、研究者及び教育者を育成し、信頼しうる人材を社会に送り出されました。

この間、学内においては、将来計画委員会委員、国際交流委員会委員等を歴任し、更に平成6年4月から同7年3月まで理学部地球科学科長を務め、大学及び学部の充実・発展に貢献されました。

一方、学術研究面では、鉱床地質学を専攻分野とした。鉱床には地球上の変動の些細な相違が大きく誇張されて現れることに着目し、この鉱床地質に基づいて地殻の進化についての研究に取り組んだ。当初は、黒鉱型・別子

型などの鉱床の成因について、ドイツ学派の堆積説とアメリカ学派の交代説があり、主とした研究は鉱床の記載であった。昭和47年にカナダ・アメリカ合衆国の大学から招かれた際、地球科学の新しい理論体系として登場したプレートテクトニクスによる鉱床成因論を構築した。これは鉱床自体の成因論よりも、むしろ地球の変動の中での鉱床成因論であり、これらの研究の成果は数多くの著書、論文として発表され学会においても高く評価され、平成5年6月資源地質学会加藤武夫賞を受賞されました。

また、学外においては、日本鉱山地質学会評議員、S G A (Society for Geology Applied to Mineral Deposits) アジア担当副会長、I A G O D (International Association of the Genesis of Ore Deposits) アジア担当評議員、第二副会長、Mineralium Depositah編集会長を務めるなど、学会の発展に寄与されました。また、学術審議会専門委員(科学研究費分科会)として、学術研究の発展に貢献されました。

平成10年度

富山大学永年勤続者の表彰

— 35年勤続 12名, 20年勤続 19名 —

平成10年度富山大学永年勤続者表彰式が去る5月29日(金)午後3時30分から事務局大会議室において行われました。

表彰式には、各部局長をはじめ関係部課長・事務長が列席し、35年勤続者及び20年勤続者一人一人に時澤学長から表彰状と記念品が贈られ、引き続き、時澤学長から

祝辞がありました。これに対して被表彰者を代表して、工学部井上教授から謝辞が述べられました。

閉式後、事務局中会議室において、永年勤続者を囲み祝賀会が開催され、丹羽経済学部長の乾杯から始まり、永年の労をねぎらわれるとともに和やかな雰囲気の中かで終了しました。



▲ 学長を囲み記念撮影

なお、表彰された方々は、次のとおりです。

(35年勤続表彰)

事務局	文部事務官	佐伯光雄
学生部	文部事務官	田中祥男
〃	〃	御福隆
人文学部	文部教官	矢澤英一
〃	文部事務官	安部保子
教育学部	文部教官	山下三郎
〃	〃	奥村義雄
経済学部	文部事務官	三井進
〃	〃	坂東康子
工学部	文部教官	井上正美
〃	文部事務官	畠山節子
附属図書館	文部事務官	真田敏江
以上 12名		

(20年勤続表彰)

事務局	文部事務官	作井功
学生部	〃	石川裕史
人文学部	文部教官	渡邊洋
〃	〃	鈴木敏昭
〃	〃	宇野隆夫
人文学部・理学部	文部事務官	絹石達也
教育学部	文部教官	深井甚三
〃	〃	広田忍
〃	〃	濱名正道
〃	〃	村上宣寛
〃	〃	大澤保彦
〃	〃	松澤敏彦
〃	文部事務官	門前剛二
経済学部	文部教官	桂木健次
理学部	文部教官	小島覺
〃	〃	吉田範夫
〃	〃	川崎一朗
工学部	文部教官	平澤良男
生涯学習教育研究センター	文部教官	大石昂
以上 19名		

東海・北陸地区国立大学学生部部課長会議を開催

第80回東海・北陸地区国立大学学生部部課長会議を、去る5月26日(火)・27日(水)の2日間にわたり、本学が当番校となり立山国際ホテルで開催しました。

会議には、文部省高等教育局学生課から馬場就職指導専門官及び瀧村事務官の出席を得て、地区15大学の学生部長(厚生補導担当副学長)、学生部次長、課長など60人が出席し、時澤学長、馬場専門官の挨拶の後、協議事項、報告事項について終始熱心に意見交換が行われました。

なお、協議事項は次のとおりです。

- (1) インターンシップについて
- (2) 学生の懲戒処分の審議過程について
- (3) 教員の学生に対するセクシャル・ハラスメントの防止について
- (4) ブロックにおける単位互換について

- (5) 就職指導体制のあり方について
ー就職対策委員会等の設置等教学的位置付けの必要性ー
- (6) 厚生補導関係諸会議のあり方について



▲ 挨拶をする馬場専門官

(海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	教授	坂井純一	ドイツ	第7回「宇宙プラズマと空間物理」に関する国際会議に出席，研究発表	10. 5. 3 / 10. 5.10
	〃	助教授	小原治樹	ドイツ ベルギー	第12回電気加工国際シンポジウムに出席，研究発表等	10. 5. 7 / 10. 5.17
	水素同位体機能研究センター	助教授	蘆田完	アメリカ合衆国	1998年第13回「プラズマ・表面相互作用」に関する国際会議に出席，研究発表	10. 5.17 / 10. 5.24
	工学部	教授	熊澤英博	ポーランド	湿式錯体法によるNOとSO ₂ の同時除去に関する研究の打合せ及び国際会議に出席，招待講演	10. 5.28 / 10. 6.10
海外研修	理学部	助手	渡邊了	オランダ	「岩石の変形特性に対する間隙流体の影響」についての共同研究	10. 5. 5 / 11. 5. 1
	教育学部	教授	西川友之	大韓民国	大邱市におけるバレーボール・イベント経営に関する調査研究	10. 5.21 / 10. 5.25
	理学部	教授	広岡公夫	大韓民国	考古地磁気研究に関する研究打合せ，資料の採取	10. 5.25 / 10. 5.31
	教育学部	教授	山西潤一	連合王国	日英共同遠隔授業プログラムに関する研究打合せ等	10. 5.27 / 10. 6. 3

(外) (国) (人) (来) (訪) (者)

氏名 (国籍)	本国における 所属機関・職名	来学目的	本学受入れ先	期間
クラス Klaus Kopfermann (ドイツ)	ハノーファー大学 教授	共同研究	理学部・助教授 阿部幸隆	10. 5. 2 / 10. 5.29

職 員 消 息

〈住所変更〉

部 局 名	官 職	氏 名
学 生 部	文部事務官 (厚生課専門員)	廣 田 浩
教 育 学 部	教 諭 (附属養護学校)	七 澤 邦 彦
経 済 学 部	教 授 (応用経済学)	芳 賀 健 一
〃	助 教 授 (応用経営)	青 木 亮
〃	講 師 (比較経済論)	吉 田 竜 司
工 学 部	助 手 (設計生産工学)	岡 根 正 樹

〈新任者住所〉

部 局 名	官 職	氏 名
人 文 学 部	助 教 授 (日本東洋言語文化)	中 井 精 一
工 学 部	助 教 授 (電気システム工学)	Sokolov Igor Vladimirovich

主 要 行 事

本 部

維大学)

- 5月1日 富山大学名誉教授称号記授与式
- 6日 第34回12大学教養教育実施組織代表者会議・事務協議会(国際ホテル松山)
就職に関する講演会
- 7日 平成10年度東海・北陸地区国立学校等施設担当部課長会議(名古屋工事事務所)
東海・北陸・近畿地区学生補導厚生研究会第42回総会(大阪ガーデンパレス)
- 7日~8日 全国国立大学工業系学長懇談会(京都工芸織

- 平成10年度全国国立大学教養教育実施組織代表者会議・事務協議会(広島ガーデンパレス)
- 11日 国立大学協会第7常置委員会(学士会館)
- 11日~15日 会計検査院会計実地検査
- 12日~15日 平成10年度国立学校等幹部職員研修(課長級)
(国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 13日 警察官採用試験説明会
- 14日 富山県高等教育振興財団連絡委員会(県民会館)
- 15日 平成10年度国立大学事務局長会議(三田共用

- 会議所)
- 16日 第50回北陸地区国立大学体育連盟運営協議会
(金沢大学)
- 18日 自己点検評価委員会委員長と各専門委員会主
査・副主査の打合せ会
- 19日 第2回自己点検評価委員会研究活動等専門委
員会
富山県大学学生部懇談会(富山国際大学)
- 20日 文部省共済組合主管課長会議(南青山会館)
第1回国際交流委員会学術交流部会
- 21日 富山県大学長懇話会(富山国際大学)
第4回自己点検評価委員会管理運営専門委員
会
- 21日~22日 平成10年度国立大学等経理部課長会議(東京
医科歯科大学)
- 22日 任用担当官会議(名古屋合同庁舎)
- 25日 第4回国際交流委員会留学生部会
- 26日 富山地区国立学校等人事担当課長会議(富山
工業高等専門学校)
- 26日~27日 第80回東海・北陸地区国立大学学生部部課長
会議(立山国際ホテル)
- 27日 第2回教養教育推進特別委員会
大学祭前夜祭
- 27日~29日 国立学校労務専掌職員協議会(富士研修所)
- 28日~29日 平成10年度国立学校等施設担当部課長会議
(東京医科歯科大学)
- 28日~31日 第43回大学祭
- 29日 平成10年度永年勤続者表彰
事務組織改善検討委員会
新たな再任用制度を導入するための意見の申
し出の説明会(金沢広坂合同庁舎)
就職問題懇談会(名鉄トヤマホテル)

人文学部

- 5月11日 学部学生生活委員会
- 13日 学部自己点検評価委員会
学部入学者選抜方法検討委員会
- 15日 学部教務委員会
- 19日 学部国際交流委員会
- 20日 教授会
研究科委員会
- 26日 「人文学部のしおり」編集委員会
- 27日 紀要委員会

28日~29日 国立17大学人文系学部長会議(愛媛大学)

教育学部

- 5月6日 就職指導委員会
学部教務委員会
学部入学試験委員会
- 7日 カリキュラム委員会
- 8日 附属学校運営委員会
- 13日 学部将来計画委員会
学部自己点検評価委員会
- 15日 附属中学校・附属養護学校合同運動会
- 15日~16日 平成10年度教育学部新入生合宿研修(国立立
山少年自然の家)
- 19日 自然観察実習センター委員会
- 19日~20日 附属小学校教育研究発表会
- 20日 学部教務委員会
教授会
人事教授会
- 21日 カリキュラム委員会
- 21日~22日 日本教育大学協会北陸地区会評議員会(福井
大学)
- 22日 附属幼稚園避難訓練
- 27日 研究科委員会小委員会
- 28日~29日 春季全国国立大学教育学部学部長会議(埼玉大学)
- 29日 学部留学生委員会
- 31日 附属小学校運動会

経済学部

- 5月6日 各種委員選考委員会
学部教務委員会
研究科委員会
教授会
- 19日 学部就職指導委員会
- 26日 学部教務委員会
- 27日 期末・勤勉手当における役職段階別加算対象
職員を選考する小委員会
人事教授会
研究科委員会
教授会

理 学 部

- 5月7日 学科長会議
 19日 理学部案内編纂委員会
 20日 理工学研究科博士前期課程理学部会
 教授会
 人事教授会
 理工学研究科博士後期課程部会
 22日 理学部案内編纂委員会
 27日 排水安全委員会
 国立14大学理学部事務長会議（信州大学）
 28日 国立14大学理学部長会議（信州大学）

附 属 図 書 館

- 5月26日 平成10年度国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大学）
 28日 国立大学図書館協議会第4回理事会（東京大学）

地域共同研究センター

- 5月8日 施設見学（氷見市立稻積小学校3・4年生）
 18日 運営委員会（持ち回り）
 20日 平成10年度第1回大学院生教育講座
 28日～29日 第10回国立大学共同研究センター長会議（プラザイン・くろかみ 宇都宮）

工 学 部

- 5月6日 平成10年度北陸信越地区工学教育協会富山県
 支部幹事会
 8日 就職指導委員会
 ホームページ作成のための講習会
 10日 3年次編入学生オリエンテーション
 12日 学部案内編集委員会
 18日 入学試験検討委員会
 20日 教授会
 専任教授会
 工学研究科委員会
 理工学研究科博士前期課程工学部会
 工学研究科博士後期課程委員会
 理工学研究科博士後期課程部会
 21日～22日 第48回国立大学工学部長会議・総会（松山全
 日空ホテル）
 25日 外国人留学生委員会
 26日 電子情報通信学会北陸支部総会
 27日 仕様策定委員会（物質構造総合解析システム）
 29日 電子情報通信学会「MEとバイオサイバネティッ
 クス研究会」

保健管理センター

- 5月1日 学生定期健康診断（X線間接撮影：男子）
 6日 学生定期健康診断（経済学部）
 8日 学生定期健康診断（X線間接撮影：女子）
 11日 学生定期健康診断（X線間接撮影：男子）
 12日 学生定期健康診断（大学院：男子）
 13日 学生定期健康診断（人文学部・理学部）
 15日 学生定期健康診断（大学院：男子）
 20日 学生定期健康診断（教育学部）

編 集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 あけぼの企画株式会社
 富山市住吉町1丁目5-18
 電話 (24)1755(代)